

# 19番目の誘致企業根下戸地内へ

## ラ・モードカノウ

株式会社ラ・モードカノウは、岐阜県羽島市に本社を持つ婦人

服の縫製メーカー、株式会社カノウが新設する現地法人です。

同社は、アパレル業界の大手、檜山株式会社や株式会社東京スタイル等を主要取引先としており、このたび婦人スカートの受注増に対応するため、当市根下戸地内へ進出することになったものです。

同社の系列企業は、昭和五十六年に南秋田郡若美町に進出しているレディスカノウに継いで二社目となります。

工場は、今月八日起工式が行われ、七月からの操業を予定しています。従業員は、操業時百五



▶8日に行われた起工式

## 銅板ぶき 屋根に しませんか

市の地場産業である鉱業を振興するため、鉱山から産出される銅の消費拡大を図ろうと、「屋根銅板ぶき推進補助金制度」を60年度から実施しています。

この制度は、市民が住宅を新築するときに屋根材に銅板を使用すれば、銅板ぶきとカラー鉄板ぶきとの差額のうち、住宅ローン10年間の利息に相当する44%を補助するもので、規模に応じて最高25万円までとなっています。

### ▶銅板ぶきがカラー鉄板ぶきと比べての利点

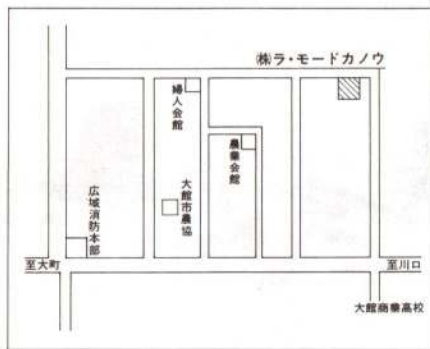
- ①腐食しにくく、耐用年数が長い。
- ②ペンキの塗り替えがいらない。
- ③強風や地震に強い。
- ④熱の伝導率が大きいため雪が早くとける。

### ▶補助金の算出方法

銅板ぶきとカラー鉄板ぶきの差額 5,209円(1㎡当たり)に、使用した銅板ぶき面積を掛けて得た額の44%で、最高限度額は25万円です。

### 申し込み及び問い合わせ

市都市開発課建築係(内線311)



十人(男子二十人、女子百三十人)、一年後に百七十五人(男子二十五人、女子百五十人)、将来は二百六十人(男子四十人、女子二十人)規模とする予定です。年間生産額は、操業時二億九千万円、一年後三億五千万円、将来は五億五千万円を見込んでいます。

## 市民の声

へお尋ねします  
市立総合病院付属高等看護学院が廃止されると聞きました。いつから廃止されるのか、なぜ廃止しなければいけないのか、お伺いします。

(川口字長里・佐藤)

### へお答えします

市立総合病院付属高等看護学院最後の入学式が今月七日に行われましたが、この学院生たちが卒業する、二年後の六十五年三月末日で高等看護学院は廃止となります。

高等看護学院は、三年課程の看護婦養成所として昭和三十年四月に設立され、その後、国による准看護婦制度廃止検討に合わせて昭和四十三年四月、准看護婦資格者を対象とする二年課程の養成所に変更し、現在に至っています。

この間、学院の運営は必ずしも良好とはいえず、特に数年前からは、大きな問題を抱えながらの運営となりました。

その問題とは、一つには、学院への入学生が著しく減少したこと。さらに、市立総合病院が学院卒業生たちの受け皿となるという当初の設立目的も、看護婦採用数の減少により果たしえな

い現状となっていること。二つ目には、医学の進歩に伴う看護婦養成は、二年課程では十分な看護教育を施せないこと。三つ目には、校舎が老朽化しており、早急に改築しなければならぬ状況ですが、三年課程に移行したとしても、設備投資ならびに講師陣の充実等には多額の経費を必要とするため、財政的に困難なことなどです。

昨年来、高等看護学院の存続を巡って関係各機関とも協議を重ねてきましたが、秋田大学付属医療短大の昭和六十五年度開校を国が決定したことにより、学院を廃止しても看護婦養成への対応は可能と判断したものです。

市としては、問題解決のため懸命な努力を続けてきましたが、一自治体の努力にも限界があり、このままの状態では運営を継続することは極めて困難な状況です。市民の皆さんのご理解を、よろしく願います。